



ゆめがおか

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-yumegaoka/>

令和5年1月10日
日野市立夢が丘小学校
校長 館 敏晴

保護者の皆様、地域の皆様 新年あけましておめでとうございます

新しい年が子供たちにとって希望に満ち、輝ける年になりますよう、教職員一同力を合わせて教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域・関係機関の方々のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

今年も、With コロナの中で試行錯誤をしながらの学校生活となりますが、保護者や地域の皆様におかれましては、本年もご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

夢が丘小学校長 館 敏晴
教職員一同

2023年(令和5年)卯年が始まりました。今年一年、どのような年になるのかとても楽しみです。令和4年12月31日に見た朝日と同じものでも、一夜明けた令和5年1月1日の朝日は「初日」と呼び、見ることを「拝む」と言います。いつもと同じ日の出でも、新年に見ると、心が引き締まります。新しい年に特別な思いをもつことが日本のお正月だと感じ時間です。

「一年の計は元旦にあり、一日の計は朝にあり」と言います。多くの人が、年頭に今年の誓いを立てます。この新鮮な気持ちを忘れずに一年を過ごしていきたいものです。

『己人腹心気』

(「気」は細長く、「心」は丸く、「腹」横向きに、「人」大きく、「己」は小さく書かれています。)

表題は、右から「気は長く、心は丸く、腹立てず、人は大きく、己小さく」と読みます。私が以前勤務していた学校の額に書かれていた文字です。

『気は長く』..自分の将来の目標や夢を、あきらめないで成し遂げるまでじっくり頑張るとこと。

「いらいら、せこせこしない、落ち着いた人でありたい」

『心は丸く』..思いやりの心、気配り、心の優しさで、優しさに勝るものはないこと。

「とげとげせず、穏やかで、温かい心の持ち主でありたい」

『腹立てず』..自分の悪いところを直すことを考え、人を責めたり、人の責任にしたりしないこと。

「すぐに怒ったりしない、心の広い寛容な人でありたい」

『人は大きく』..出会う人や環境で、人生は大きく左右されます。自分の周りの人間のよさ、素晴らしさを発見して、自分のものにしていくこと。

「人を大切に、人よいところを見つけて、ほめてあげられるような人でありたい」

『己小さく』..自分はまだまだ未熟で教えられる立場であり、無意味に威張ってはいけないこと。

「自分が自分がと言わない、慎み深い控えめな自分でありたい」

『己人腹心気』を、どこでも、いつでも大事にしたいと心がけ、お互いがお互いを思いやりながら過ごすような一年にしていきたいです。今学期もよろしくお願いいたします。

1 月 行 事 予 定

日	曜	朝		1年	2年	3年	4年	5年	6年	S C	夢 学
7	土		冬期休業日終								
8	日										
9	月		成人の日								
10	火	B	始業式	4	4	4	4	4	4		
11	水	B	計測（1・2） 安全指導 給食始 ALT	4	5	5	5	5	5		
12	木	読み聞かせ	避難訓練・防災ノート 委員会活動	5	5	5	5	6	6	○	
13	金	夢	計測（3・4）	5	5	5	6	6	6		
14	土										
15	日										
16	月	学級	計測（5・6）	5	5	6	6	6	6		
17	火	全校朝会	ステップ教室指導始	5	5	6	6	6	6	○	
18	水	B		4	5	5	5	5	5		
19	木	読書	クラブ活動	5	5	5	6	6	6	○	
20	金	B	4時間授業（全）	4	4	4	4	4	4		
21	土										
22	日										
23	月	学級	校内書写展（～31日）	5	5	6	6	6	6		○
24	火	体育朝会	大縄週間	5	5	6	6	6	6	○	
25	水	B		4	5	5	5	5	5		
26	木	読み聞かせ	クラブ活動	5	5	5	6	6	6	○	
27	金	たてわり		5	5	5	6	6	6		○
28	土										
29	日										
30	月	学級		5	5	6	6	6	6		
31	火	全校朝会	七生特別支援活動との交流（4）	5	5	6	6	6	6		

第2学年 「かけ算九九暗唱をがんばっています」

2年生は、11月ごろからかけ算の学習をしています。まずは、かけ算の意味をみんなで学びました。「 2×3 は2が3こあるっていうことだね」「2を○回足すのは大変だから、かけ算で表すって便利だな」「○倍って○つあるってことなのか」そんな気付きがありました。その上で始まった“かけ算九九”です。ただ暗唱するというだけでなく、覚えていると大きな数になったときも答えがすぐに出て便利である（…だから覚えよう！）と頑張ってきました。そして今は、学級での“九九チェック”をクリアした子から校長室に行き、校長先生による“最終九九チェック”を受けています。「どんなチェックだった」「緊張して頭が真っ白になった」と教室に戻ってきたら子供たちの情報交換会が始まります。教室で迎えるとき、担任として思うことがいくつかあります。お家で練習して備えてきたんだな、緊張しながら頑張ったんだな、悔しい思いをしたんだな、と。「先生、次合格するために、一緒に練習してくれませんか」「私が苦手な九九を紙に書いてください」「間違えることが多い九九をここに貼っていいですか」…かけ算九九の暗唱ですが、そうやって子供たちが個々に自分の課題に向かって頑張る姿に、算数の学習をこえた子供たちの成長を感じています。59名全員合格を目指します！！